

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和2年5月19日

回答率: 保護者10/15 職員8/8

事業所名: 多機能型事業所 わくわくクラブ
放課後等デイサービス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	3	1	・静かなスペースがあれば良い。 ・個人的には食堂との併用もあり、出来れば確立された拠点が必要と考える。 ・スペースについては、検討の価値はある。子ども達がのびのびと活動出来る場、死角への意識、トイレ等の動線なども十分に検討して欲しいと思う。	6	4			・現状、特性に応じて部屋を分けて過ごしてもらっている。人数が多い時は難しい場合もある。 ・放課後児童クラブともだちパーク後施設(現施設の2倍の広さ)を利用する方向で検討したが安全性の確保等の面から見送った。
	2 職員の適切な配置	4	2	2	・職員の多い日、少ない日がある。 ・求める時間帯に問題があり？難しい面もあるが、ギリギリの状態を感じる。 マンツーマンでの見守りが必要な利用者がある為、フリーになる利用者がある。	9	1			職員の勤務決定後、利用者の利用決定している。 アンバランスな場合、勤務変更で対応している。退職補充をする。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	5	1	・静かなスペースがあれば良い。 ・問①と重なるが、リスク面の話し合いを行いながら、柔軟に検討して欲しい。	7	2		1	・現状、特性に応じて部屋を分けて過ごしてもらっている。人数が多い時は難しい場合もある。 ・職員の意識統一の必要性、聴覚過敏の利用者の近く、活動内容考慮、誘導の仕方、子どもにも理解してもらおう努力必要。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	4		・多少の修理が必要？活動用具の整理、補充等 ・聴覚過敏の利用者に対する配慮や環境の改善は必要。 ・部屋の壁穴、補修した方がよい。③の部屋、寝具を購入し、休憩しやすくなった。 ・掃除についてもだが、感染症等に対する職員の意識は上がってきている。 ・清潔的な面では、男性目線と女性目線で気になる所が異なるのか、伝えて行く必要はあるかと思う。	7	3			・部屋や公用車の整理整頓、清掃をこまめに行う。 補修の必要な箇所は順次、修理をする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	6	2							
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1	1	6						・令和2年度実施予定です。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7	1		・館内研修への参加を、順にでも参加できる体制作りを工夫すれば更に良い。					職員に随時情報を提供し、意欲的な研修の受講を促進する。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8			・児発管として、十分な計画を作成出来ているかは…皆さんの情報を基に内容を検討し作成してはいる。	9	1			

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
な支援の提供	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8			・利用者や保護者のニーズの把握に努めながら、支援計画を作成している。	9	1			
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	3		・集団活動をもう少し取り入れると良いと思う。(体操・ダンスなど)	/	/	/	/	・集団活動として、長期休みには、ラジオ体操等、検討する。創作活動(共同作品作成)も取り入れる。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6	2		・都度、確認必要。	8	1	1		・利用者の課題、目標等リストアップし、支援前の打ち合わせの時に確認する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	8			・チームで話し合い活動プログラムを決定している。その際は安全面等にも考慮している。	/	/	/	/	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	1	1	・話し合いはしているが、具体的に変わった所は無いので、変われば良い。	9			1	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	2			/	/	/	/	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8				/	/	/	/	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化			8	・その日の気付きはもう少しその日のうちに共有し、話が出来れば良いと思う。 ・終了時に時間が無い。 ・翌日以降になるケースもある。(長期休暇は特に) ・終了後に難しい場合は、次の日の支援開始前に振り返り、情報共有を行っている。	/	/	/	/	・営業時間が勤務時間となる為、当日の振り返りは難しい。翌日の朝礼時に振り返りを行う。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	5		・自分自身、まだまだ記録をとる事が少ない。 ・利用者によって記録に差がある。 ・細かい記録は弱い。利用者の見守りと同時進行なので、難しい所はある。 ・限られた時間の中で難しい面もあるが、活動の記載だけでなく、もう少し詳しい記録が欲しい。 ・何をしたらはよくわかるが、その時の様子、状況は伝わりにくい事が多い。ケア会議等の議事録については大分内容が充実してきたが、問題点(課題)に対しての検討等が、もう少し詳しくあれば良い。	/	/	/	/	* 利用者に応じて必要な情報をできるだけ記載するようにする。(支援計画・ケア会議を記録表に添付する。)

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	11										
関係機関との連携	1	8			・正規職員が主に出席されているが、パート職の方にも参加してもらえたらと思う。						・正規職員が男性で、今までは女性職員が参加出来てなかったが、女性利用者に関する担当者会には女性職員が参加する。
	2	4			・現在は該当者なし。						
関係機関との連携（続き）	3	3	1		・現在は該当者なし。						
	4	8			・サポートファイルや事前のアセスメントにより、行っている。						
	5	6	2		・求められた場合は会議に参加し、提供している。相談支援専門員のよってもムラがある。						
	6	5	3		・もっと研修を受けたい。 ・研修は受けているが、まだまだ回数が少ない。						・職員に随時情報を提供し、意欲的な研修の受講を促進する。
	7	3	4	1	・児童館の行事を増やした。 ・回数は少ないが、児童クラブ(とまちパーク)との交流あり。重度の方は遠ざかっているのが現状。	1	2		6	・特に必要とは感じない。 ・未回答1件	・現在コロナウイルスの影響で未実施。今後、交流の機会を増やしていきたい。
	8	7	1		・夏祭りなど。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1	8				10					
	2	8				10					
	3		7	1	・職員の知識や資質の向上の必要性を感じる。 ・夏休みの宿題等、職員主導でどこまで仕上げたら良いのか？全て依存とならないよう、意識統一が必要ではないか？(日記は特に仕上がり、個人差あり)	4	5		1		・障がいの特性が様々で、統一したトレーニングの提供は難しい。気付いた事があれば助言を行う。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	7	1		・満足度調査においても、職員によって差が有るとの事であった。	10					
	5	5	2	1		8	1		1	・送迎の時間にお話している事が、それに当たるのかな？と思います。	
	6			8	・支援学校の保護者のコミュニティが既にある為、必要性を感じない。普通学校と支援学校の保護者のベクトルの違いにも着目すべきでは。 ・問5-③に重なるが、必要ないと感じるご家族もあると思うが、アクションは起こしてみてもと思う。 ・一度、参観日&保護者会を実施してみる。 ・以前より、参観、家族交流会等を勧めているが、参加、不参加は別として、もう少しご家族との交流を検討してみても感じる。	2	2	3	3		・開催する方向で、前向きに検討する。日時・内容等職員で話し合う。
	7	8				8		1	1		
	8	8					10				
9	8				・毎月通信を発行している。	8	1		1		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	8				7	1	2			
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7	1		・各マニュアルの把握、必要。	7	1	1	1	・策定はしてくださっているとありますが、見たりする機会はありません。	・マニュアルは策定しているが、保護者への周知は出来ていない。都度、周知していく。特に、今はコロナウイルスの対応・保護者の理解・協力等について、随時、お知らせを行っている。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			・月2回ペースで訓練を実施している。	8			2		
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8									
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	8									
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	7	1								
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	3		・提出数が少ない。その場で、思ったことがあっても、支援や見守りから離れられない事が多い為、忘れてしまう事もある。 ・事故を未然に防ぐ為にも、少しでも気になったことは、そのままにせず、記録を残してほしい。提出が少なく感じる。 ・事例が少ない。						・各職員メモを持っておく。後でも書けるようにする。 ・記入用紙を各部屋に設置する。